

市民活動サポートセンター いなぎ

ニュースレター

No.14

2007.6.15

発行/NPO法人
市民活動サポートセンターいなぎ
事務局/〒206-0802
稻城市東長沼2112-1
稻城市地域振興プラザ1F
市民活動サポートセンター内
電話042-378-2112
FAX042-378-6971
E-mail:info@i-inagi-support.org
<http://www.i-inagi-support.org/>



▲話合いにも熱がこもる

NPO講座入門編

ステップアップ! サークル活動

~趣味の活動から
地域活動へ~

- 講師/安藤雄太氏
(東京ボランティア・市民活動センター副所長)
- 日時 7月21日(土)
13:30から
- 会場 地域振興プラザ
4階会議室

●ハッピーライアメント講座●

~地元で活躍されている方の体験談を聞いてみませんか~

長年、会社人間として活躍され、いよいよ定年を迎える方または定年後の方を対象に、地元にお住まいで、いきいきと人生を歩まれている方のお話を聞き、交流をしたいと考えております。女性の方も大歓迎です。お誘い合わせの上是非ご参加ください。

- 日時/7月7日(土)午後1時30分~3時30分
- 会場/稻城市地域振興プラザ 4階会議室
- 会費/無料
- 主催/NPO法人市民活動サポートセンターいなぎ
稻城市立公民館
稻城市社会福祉協議会

【第一部の1】ひと味ちがった人生 お笑いに挑戦

マーシイ松田さん(プロ漫才師に挑戦中)

【第一部の2】輝いている人みつけた!

~各分野で活躍中の方の体験談発表~

大谷さん(いなぎICカレッジ理事)
杉本さん(いなぎ里山グリーンワーク)
檜谷さん(はつらつワーク稻城)
福森さん(公民館運営審議会委員)
百瀬さん(社協ハンディキヤブ運転協力員)

【第二部】 交流会

ご興味のあるブースでごゆっくりご歓談ください。

仕事・福祉・文化センター・ICカレッジ・市民活動団体などの関係者が多数参加されます。市民同士です。何でも聞いてみてください。

◎当日の4時から懇親会を行いますので是非お立ち寄りください。
「私の想いを語り、ひとの想いを聞く語らいの場、あなたの想いを話せます!」

会場 1Fミニテイングコーナー
参加費 300円(飲み物 茶菓子を用意いたします。)

申し込み・問い合わせ先 電話:042-378-2112 FAX:042-378-6971
<http://www.i-inagi-support.org/> E-mail:info@i-inagi-support.org

進化し続いている 「手づくり市民まつり」

運営経費も設営もすべて自分たちで・・・

5月の連休中の行事としてすつかり定着している「手づくり市民まつり」が、今年も5月4日と5日の2日間、城山公園広場とその周辺を会場として行われました。

8回目となりましたが、今回も延べ来場者数は18,000人を超えたそうです。

そこで、このまつりの意義について、実行委員長の角田亨さんの話を交えながら、考えてみたいと思います。

★ ★

まつりの目的の一つは「市民自らの手でまつりを実施することで、行政と責任あるパートナーシップを築き、市民の自主性・主体性を高め、併せて明日の街づくりの活性化に寄与する」とのこと、運営経費の大部分を出店料（テナント・フリーマーケット）と主催者売店の収益でまかなっているということからも、市民の自主性・主体性が如何なく發揮されていることが分かります。

実行委員会は前年の11月頃に結成され、10回程度の会議を経て当日を迎えるそうですが、約40人の実行委員は、自治会・PTA・体育振興会・青少年育成地区委員会・青少年委員会・幼稚園父の会・保育園などに関係するメンバーで、実際に

多彩な顔ぶれです。

★ ★

まつりの中身は、「フリーマーケット部門」、「ステージ部門」、「出店部門」、「レクリエーション部門」などで、そのため



▲今回も盛り上がったステージ部門

のテントの手配や設営もすべて市民が力を合わせて行っているとのことでした。

★ ★

そこで実行委員長の角田さんに、このまつりを始めた切っ掛けや苦労話、これからのことについて聞いてみました。

Q：そんなに大変な苦労をしてまで始めようと思ったのはどうしてですか？

A：ここを会場として長い間ガーデンシティが開催されていましたが、都の財政状況の悪化で補助金が打ち切りとなり中止になりました。それならば市民の力で税金を使わずに出来ないかと思ったわけで

す。初回は「稻城国際交流の会」が呼びかけて実施しました。2回目からは実行委員会方式になり今日に至っています。

Q：実施するにあたって一番苦労することは？

A：どう採算をとるか、いかに赤字にしないかということですね。おかげで、広告をとらずに今までやってきました。

Q：逆にやってきて良かったことは？

A：この「まつり」を通して団体や個人のネットワークの輪が広がったことですね。

Q：これからどう発展させていきたいですか？

A：発想の転換でここまできました。

周辺からテントや備品を無料で借り、自分たちの手で運び設営する。ステージ出演者は無料を基本に、しかし魅力あるプログラムにと…。新聞折り込みによる市内全戸配布も広告なしで行うなど本物の手づくりでのまつりです。しかも少し体系づけて、単なる「まつり」ではなくメッセージ性のある、社会貢献活動を前面に出せるようなイベントにしていきたいですね。住んで良かったと思える稻城にするために……。

★ ★

これから、どう進化していくか、ますます楽しみです。

四月

「ケーブルテレビの今昔」

話し手：金子春生さん

ケーブルテレビは難視聴地域を救済する目的から多目的の時代へ。その発展経過について話をお聞きしました。

今までの放送は見る、聞く、録るでしたがデジタル放送はテレビ討論会への参加やクイズ、アンケートの回答など、双方向の通信が可能になります。

例えは郵便番号を入力すると、その地方の天気予報や必要な情報が分かります。

海外も同じようにエリアを特定してアクセスすれば情報が得られるそうです。地上波デジタル放送は2011年にはデジタル対応テレビ以外では受信できなくなりますが、特別の受信機を設置すれば従来通り見ることが出来るとのことです。

はじめは専門用語が飛び交いましたが、終盤では身近な話になり、日常生活で活用すれば楽しみが増すかな？・・・と思いました。

※多摩テレビではサポートセンターのイベントなどを放送しています。

(稲垣)

五月

「仏教から見るアジア」

話し手：荒木重雄さん

日本人には馴染みの深い仏教ですが、どうしても日常触れる宗教といふよりは、お葬式のときにお世話になる、という観念が先にたつてしまいます。

そのため、深く仏教について知るという機会がなかったのですが、今回は荒木さんにその成り立ち、歴史・変遷などをスライドを交えながら非常に分かりやすく説明をしてもらいました。

もともと仏教は釈迦様（ゴータマ・シッダルタ）が説いた教えですが、その歴史を見ると、人間がそのおかれた環境に即しながら、仏教の解釈を変えてきたことがよく分かります。

原始仏教・部派仏教・大乗仏教・密教と変遷を遂げる過程で様々な民族・国の取り扱い経緯を見ると、その人々の特徴を垣間見ることができます。おおらかな民族・生真面目な民族などなど。さて日本は？最初の教義から多数の宗派が分かれ、そこからまた枝葉となっていく。解釈の違いで時として紛争も起ります。

釈迦様がもし、この世に生きていたら、苦笑なさるのではないかでしょうか。真実の知恵とは？心の平安を得るには？「煩惱是道場」→煩惱があるから救いがある。

雑務に追われる日々を送っていると、たまにはフリと自分を見つめなおす時間を持ちたいものです。

(秋廣)

ガンバってます

11



▲勉強会ではリハーサルを

いなぎおはなしの会は生声でおはなしを語る活動をしています。1998年6月、現会員の高橋さんと澤野さんの2人が会を立ち上げ、稲城でおはなしを広めてきました。おはなしは本を読むと違い、覚えた話を自分のものにして、聞き手の顔を見て直接語りかけていくのです。現在の会員数は5名、活動内容は、①月2回、中央図

**覚えた話を
直接語りかけている**

「いなぎおはなしの会」

代表：吉永みのりさん

書館でのおはなし会 四小学校の毎月全クラスでのおはなし会 第②回の盛りだくさんです。その定例勉強会を月2回行っています。会員は練習を繰り返し、勉強会でリハーサルをしてから本番を迎えます。「子ども達の真剣なまなざしにみつめられ、毎回が勝負です。その緊張感とワクワク感がたまります。」と、高橋さん。せん」と、高橋さん。本當に地道な活動に感心しました。取材当日はリハーサル中。子どもたちにおはなしのつて聞き手となり、とてもゆったりとしたあたたかな気持になりました。【子どもたちにおはなしの世界を楽しんでもらうつての思いで続けている】と代表の吉永さん。これからも、もっとたくさんのおはなしを聞く楽しみを少しでも味わつてもうえるよ。おはなしを聞いて続けるよ。おはなしの世界の楽しさや不思議を伝えて欲しいと思いま

(廣田)

理事会・総会など ぼうこく

4月16日 定例理事会

- 事務局・各プロジェクトの報告
- 議事
- ①総会準備について
- ②利用登録団体の展示について
- ③入会申し込み状況について

4月23日 臨時理事会

- 各プロジェクトの報告
- 議事
- ①総会議事の承認について
- ②稻城市社会福祉協議会評議員の推薦について

4月28日 通常総会

午後2時から4時まで地域振興プラザ1階において開催した。正会員30名のうち22名出席(委任状1名)

議長に藤森敬三さんを選出

し、第1号議案から第6号議案まで担当理事より説明があり、質疑応答の後、すべて提案通り承認された。

5月27日 3市交流会

日野市市民活動団体連絡会、多摩市NPO協会、NPO法人市民活動センターいなぎ3者の交流会が、「ひの市民活動支援センター」で行われ、行政との協働のあり方や今後3者が協力して取り組めることなどについて意見交換した。

大人が楽しむ おはなし会

- 日時／7月9日（月）
10：30～11：30
■場所／中央図書館 おはなし室
■主催／いなぎおはなしの会
※「いなぎおはなしの会」については3ページを参照

午後7時～9時

金曜サロンスペシャル

■7月6日（金）

- 話し手：永田穂積さん（いなぎ苑施設長）
- テーマ：特養ホームにおける看取り介護（ターミナルケア）の取り組みについて

最近、いなぎ苑のお年寄り又はご家族の中には、暮らし、慣れ親しんだ施設で看取って欲しいと希望する方が増えました。みなさんはどうでしょうか。まだ先のことでしょうが、家族で話し合う良いチャンスかもしれません。

映像を使って事例などお話をさせていただきます。



▲6月の金曜サロンスペシャル

今日は2面で「手づくり市民まつり」を取り上げてみました。
資金づくりから準備、設営までを、すべて市民が力を合わせて行い、それが8回も続いているといふことは、とてもすばらしいことだと思います。
こうした活動が、まちづくりにどう繋がっているのか、その意味について、みんなで考えてみたかつたからです。

そんなふうに市民力が様々な場面で發揮された時、きっと稻城は活気に満ちたまちになっていくのではないか。二コースレスターでは、これからもそうした活動に焦点を当て、市民が頑張つている様子を報告していく必要があります。

（小林）

編集後記

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円